

高齢者用肺炎球菌ワクチン予防接種のご案内

肺炎は、日本の死亡の原因の第5位であり、成人の肺炎の約2～3割は肺炎球菌という細菌により引き起こされるとの報告があります。肺炎球菌ワクチンを接種しておくことで、肺炎の予防や重症化を防ぐといわれています。

令和8年4月1日から、肺炎球菌予防接種で使われるワクチンが国の方針により、より高い予防効果が期待できる「プレベナー20（PCV20）」に変更になりました。

伊那市では、一部負担金をいただき公費で実施します。下記の内容をよくお読みいただき、接種をご希望の方はお早めにご検討ください。

1 接種対象者 ※市町村の補助は、生涯で1回のみです。

(1) 満65歳の方（補助が受けられるのは66歳の誕生日の前日までです）

※66歳の誕生日を迎えると補助は受けられません。

(2) 接種日において、60歳以上65歳未満の方で、心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する方。（60歳の方は誕生日以降に受けてください）

2 自己負担額 3,300円（※生活保護世帯の方は無料）

※ワクチンの変更に伴い、金額が上がりました。

3 実施医療機関

(1) 別紙の医療機関一覧をご覧ください、ご予約ください。

(2) 県内の上伊那以外の一部の医療機関でも接種できます。実施可能か医療機関へお問い合わせください。

4 注意事項

(1) 過去に肺炎球菌ワクチン（ニューモバックス NP（PPSV23）またはプレベナー20（PCV20）等）を任意接種または定期接種で受けたことがある方は、基本的には補助の対象とはなりません。

(2) 新型コロナワクチン、インフルエンザワクチン、带状疱疹ワクチン等との接種間隔の決まりはありません。

>> 裏面をご覧ください。

伊那市役所 健康推進課 予防係
電話 78-4111 （内）2332

肺炎球菌感染症とは

肺炎球菌という細菌によって引き起こされる病気です。この菌は、主に気道の分泌物に含まれ、咳やくしゃみなどを通じて飛沫感染します。日本人の約5～10%の高齢者では鼻やのどの奥に菌が常在しているとされます。これらの菌が増殖し、下気道や血流中へ侵入することで、気管支炎、肺炎、敗血症などの重い合併症を起こすことがあります。

予防接種の効果

- ・肺炎球菌には100種類以上の型があり、定期接種で使用する「プレベナー20（PCV20）」はそのうちの20種類の型の肺炎球菌をカバーするといわれています。

予防接種の副反応

- ・主な副反応には、接種部位の症状（痛み、赤み、腫れなど）、筋肉痛、だるさ、発熱、頭痛などがあります。
- ・接種後に気になる症状や体調の変化があらわれたら、すぐに医師にご相談ください。

予防接種の注意事項

【接種が不適当な方】 次のいずれかに該当する場合は、接種ができません。

- ・明らかな発熱を呈している方
- ・放射線、免疫抑制剤等で治療中の方（免疫抑制剤による治療を受けられる方は、少なくとも14日以上前までに接種を行ってください。）
- ・重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方
- ・本剤の成分によってアナフィラキシーを呈したことがあることが明らかな方
- ・上記に掲げる方のほか、予防接種を行うことが不適当な状態にある方

【接種要注意者】 次のいずれかに該当する場合は、注意して接種してください。

- ・心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患及び発育障害等の基礎疾患を有することが明らかな方
- ・予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた方及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある方
- ・過去にけいれんの既往のある方
- ・過去に免疫不全の診断がなされている方及び近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ・本剤の成分に対してアレルギーを呈するおそれのある方

【接種後の注意】

- ・接種当日は激しい運動を避けてください。（接種当日の入浴は差し支えありませんが、注射したところをこすらないでください。）